

## 松江市理容師及び美容師の出張業務に係る指導要領

(目的)

第1条 この要領は、理容師法(昭和22年法律第234号)第6条の2ただし書の規定により理容師が理容所以外の場所において業を行う場合(以下「出張理容」という。)及び美容師法(昭和32年法律第163号)第7条ただし書の規定により美容師が美容所以外の場所において業を行う場合(以下「出張美容」という。)に関し、松江市内での取扱いについて必要な事項を定め、もって公衆衛生の向上を図ることを目的とする。

(出張理美容の実施主体)

第2条 出張理容又は出張美容(以下「出張理美容」という。)の実施主体は、次の各号に掲げる者とする。

- (1) 理容師法第11条第1項又は美容師法第11条第1項に基づき理容所又は美容所の開設の届出をし、理容師法第11条の2又は美容師法第12条の規定に基づき都道府県知事等の検査を受け、使用することができることとされている理容所又は美容所(以下「理美容所」という。)の開設者
- (2) 理美容所に所属する理容師又は美容師
- (3) 理美容所に所属しない理容師又は美容師

(出張理美容実施の要件)

第3条 出張理美容を行うことができる場合は、次のとおりとする。

- (1) 理容師法施行令(昭和28年政令第232号)第4条及び美容師法施行令(昭和32年政令第277号)第4条に規定する場合
  - ア 疾病その他の理由により、理美容所に来ることができない者に対して業を行う場合
  - イ 婚礼その他の儀式に参列する者に対してその儀式の直前に業を行う場合
- (2) 松江市理容師法施行条例(平成29年松江市条例第110号)第2条及び松江市美容師法施行条例(平成29年松江市条例第111号)第2条に規定する場合
  - ア 理美容所がない山間地に居住する者の求めに応じ、出張して業を行う場合
  - イ 社会福祉施設に出張して、入所している者に対して業を行う場合
  - ウ 災害救助法(昭和22年法律第118号)第4条第1項第1号に規定する避難所又は応急仮設住宅に出張して、避難している者に対して業を行う場合
  - エ アからウまでに定めるもののほか、市長が特別の事情があると認めた場合

(業務開始の届出)

第4条 松江市内において、前条第1号ア並びに第2号ア及びイに掲げる出張理美容を行う場合であって、当該出張理美容が島根県内に所在する理美容所の業務として行われるときは、当該理美容所の開設者が出張理容・出張美容開始届(様式第1-1号)を、島根県外に所在する理美容所の業務として行われるとき及び理美容所の業務以外として行われるときは、当該出張理美容を行う理容師又は美容師が出張理容・出張美容開始届(様式第1-2号)を、そ

れぞれ保健所長に提出すること。

2 島根県内の理美容所に所属する理容師又は美容師以外の者が前項の届出を提出する場合は、次に掲げる書類を添付すること。

(1) 感染症及び感染性の皮膚疾患の有無に関する医師の診断書

(2) 理容師免許証（写し）又は美容師免許証（写し）

（変更又は廃止の届出）

第5条 前条の規定による届出を行った者は、届出事項に変更を生じたとき又はその業務を廃止したときは、すみやかに出張理容・出張美容変更（廃止）届（様式第2号）を保健所長に提出すること。

（実績報告）

第6条 第4条の規定による届出を行った者は、毎年の実績について翌年の1月31日までに出張理容・出張美容実績報告書（様式第3号）を保健所長に提出すること。

（衛生措置）

第7条 出張理美容を行う者が講ずべき衛生措置は、別紙「出張理容・出張美容に関する衛生管理基準」のとおりとする。

（島根県との連携）

第8条 市は、島根県内（松江市を除く。）の理美容所の開設者又は当該理美容所に所属する理容師又は美容師が届出等を行う場合に当該届出を行う者の同意を得た上で島根県と情報共有を行う等により届出の簡素化に努めるとともに、必要に応じ協力して衛生指導を行うなど、島根県と連携して業務を行うこととする。

#### 附 則

1 この要領は、平成30年4月1日から施行する。

2 この要領の施行の際現に、松江市において出張理美容を行う旨を、島根県に届け出ている者は、松江市に届け出たものとみなす。

#### 附 則

この要領は、令和2年12月15日から施行する。

#### 附 則

この要領は、令和8年3月26日から施行する。

## 別 紙

### 出張理容・出張美容に関する衛生管理基準

#### 第 1 作業環境

- 1 不特定多数が利用する施設等において出張理容又は出張美容を行う場合には、作業及び衛生保持に支障を来さないよう、不特定多数が出入りする場所から区分された専用の作業室などにおいて行うことが望ましいこと。
- 2 作業場の床及び腰張りは、コンクリート、タイル、リノリウム、板等の不浸透性材料を使用した構造が望ましいこと。これによらない場合は、ビニールなど不浸透性材料のシートの上で作業を行うこと。
- 3 作業場内は、不必要な物品等が近くにないところが望ましいこと。
- 4 作業場内の採光、照明及び換気を十分にすること。

#### 第 2 携行品等

出張理容又は出張美容を行う際には、次の器具等を携行すること。

- 1 洗浄及び消毒済みのはさみ等の理容器具又は美容器具と、これらを衛生的かつ安全に収納できるもの
- 2 使用済みのはさみ等の理容器具又は美容器具を、安全に収納できるもの
- 3 消毒された布片類・タオルと、これらを衛生的に収納できるもの
- 4 外傷に対する救急処置に必要な薬品及び衛生材料
- 5 手洗いに必要な石ケン、消毒液等

#### 第 3 管理

##### 1 作業環境の管理

- (1) 作業場内には、みだりに犬（身体障害者補助犬を除く。）、猫等の動物を入れないこと。
- (2) 作業終了後は、作業場の清掃を十分行い、清潔にすること。

##### 2 携行品等の管理

- (1) 洗浄及び消毒済みの器具類等は、使用済みのものと区別して、収納ケース等に保管すること。
- (2) 使用済みのかみそり（頭髪のカットのみの用途（レーザーカット）に使用するかみそりを除く。以下同じ。）及びかみそり以外の器具で、血液の付着しているもの又はその疑いのあるものは、それ以外の使用済みの器具と区別して、丈夫な容器に保管し、適切な処置を行うこと。取扱いの際は、器具の突き刺し事故に注意すること。

##### 3 従業者の管理

営業者は、常に従業者の健康管理に注意し、従業者が感染症、感染性の皮膚疾患にかかったときは、当該従業者を作業に従事させないこと。

#### 第 4 衛生的取扱い等

- 1 作業室には、施術中の客及び介助者以外の者をみだりに出入りさせないこと。
- 2 作業中、従業者は清潔な外衣（白色又はこれに近い色で汚れが目立ちやすいもの）を着用し、顔面作業時には清潔なマスクを着用すること。
- 3 従業者は、常につめを短く切り、客 1 人ごとの作業前及び作業後には手指の洗浄を行い、必要に応じて消毒を行うこと。
- 4 作業場においては、喫煙及び食事をしないこと。
- 5 皮膚に接する器具類は、客 1 人ごとに消毒した清潔なものを使用すること。

- 6 皮膚に接する器具類は、使用後に洗浄し、消毒すること。
- 7 皮膚に接する布片類は、清潔なものを使用し、客1人ごとに取り替えること。
- 8 使用後の布片類は、他のものと区別して収納すること。帰宅後、洗剤等を使用して温湯で洗浄することが望ましいこと。
- 9 蒸しタオルは消毒済みのものを使用すること。
- 10 客用の被布は、使用目的に応じて区別し、清潔なものを使用すること。
- 11 作業に伴って生ずる毛髪等の廃棄物は、客1人ごとに清掃すること。
- 12 毛髪等の廃棄物は、ふた付きの専用容器や丈夫な袋などに入れ、適正に処理すること。
- 13 皮膚に接しない器具であっても汚れやすいものは、客1人ごとに取り替え又は洗浄し、常に清潔にすること。
- 14 感染症、感染性の皮膚疾患の患者又はその疑いのある者を扱う場合には、マスク、手袋等予め防護措置をとること。また、このような者を扱ったときは、作業終了後、従業者の手指及び使用した器具等の消毒を特に厳重に行うこと。器具等の消毒については、感染症法に基づく消毒・滅菌の手引き（令和4年3月11日健感発第0311第8号厚生労働省健康局結核感染症課長通知）等を参考にすること。
- 15 パーマネントウェーブ用剤、染毛剤等の使用に当たっては、医薬部外品及び化粧品として、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和35年法律第145号）による承認を受けたものを適正に使用し、その安全衛生に十分留意すること。また、使用によってアンモニア等のガスが発生する場合には、特に排気に留意すること。

## 第5 消毒

理容所及び美容所における衛生管理要領（昭和56年6月1日付け環指第95号厚生省環境衛生局長通知）に準じること。

## 第6 自主管理体制

### 1 衛生管理責任者の設置

理容師法第11条の4第1項又は美容師法第12条の3第1項の規定に該当しない営業者が出張理容・出張美容を行う場合において、常時2人以上の理容師又は美容師を出張理容又は出張美容に従事させる場合には、事務所等の設備、器具等の衛生の点検管理、従業員の感染症罹患の有無の確認、従業員の衛生教育等を行う衛生管理責任者として、理容師法第11条の4第2項の規定に基づく管理理容師又は美容師法第12条の3第2項の規定に基づく管理美容師の資格を有する者を置くことが適当であること。

### 2 衛生管理要領の作成及び周知

営業者又は衛生管理責任者は、出張理容又は出張美容に係る作業環境や取扱い等に係る具体的な衛生管理要領を作成し、従業員に周知徹底すること。

### 3 免許証等の持参・提示

出張理容・出張美容を行う際には、理容師又は美容師であることを証明するもの（免許証の本証又は写し）を持参し、利用者等から求めがあった場合にはそれを提示すること。

年 月 日

松江市・島根県共同設置松江保健所長 様

住所（法人の場合にあつては、主たる事務所の所在地）

氏名（法人の場合にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号

### 出張理容・出張美容開始届

このことについて、下記のとおり届け出ます。

記

種 別	理 容 所 ・ 美 容 所	
理美容所の 名称及び所在地	Tel (            )            -	
出張業務を行う理容師 又は美容師の人数	人	
出張業務の理由 及び出張業務の場所  ※該当する項目の□にレ 印を付けること。	<input type="checkbox"/> 1 疾病その他の理由により、理美容所に来ることができない者 に対して業を行う	
	<input type="checkbox"/> 2 理美容所がない山間地に居住する者の求めに応じ、出張して 業を行う	
	<input type="checkbox"/> 3 社会福祉施設に出張して、入所している者に対して業を行う	
	施設の所在地	施設名
情報共有に関する同意 ※同意する場合は□にレ 印を付けること。	<input type="checkbox"/> 理容師又は美容師の所属状況等の確認のため、理美容所の開 設及び変更に伴い島根県に届け出た事項について、松江市が 島根県と情報共有することに同意します。	
業務開始(予定)年月日	年	月 日

※「種別」欄は、いずれかを○印で囲むこと。

※「出張業務の場所」欄は、「出張業務の理由」欄の3にあつては施設の所在地及び施設名を記入すること。

年 月 日

松江市・島根県共同設置松江保健所長 様

住所  
氏名  
電話番号

### 出張理容・出張美容開始届

このことについて、下記のとおり届け出ます。

#### 記

免 許 証	種 別	理 容 師 ・ 美 容 師	
	登 録 番 号	第 号	
	登 録 年 月 日	年 月 日	
出張業務の理由 及び出張業務の場所 ※該当する項目の□にレ 印を付けること。	<input type="checkbox"/> 1 疾病その他の理由により、理美容所に来ることができない者に対して業を行う		
	<input type="checkbox"/> 2 理美容所がない山間地に居住する者の求めに応じ、出張して業を行う		
	<input type="checkbox"/> 3 社会福祉施設に出張して、入所している者に対して業を行う		
	施設の所在地		施設名
業務開始(予定)年月日	年 月 日		
備 考			
情報共有に関する同意 ※島根県内の理美容所に所属する理容師又は美容師に限り、同意する場合は□にレ印を付けること。	<input type="checkbox"/> 理美容所への所属の状況等の確認のため、所属する理美容所の開設者が理美容所の開設及び変更に伴い島根県に届け出た事項について、松江市が島根県と情報共有することに同意します。		

※ 添付書類（県内の理美容所に従事していない場合に限る。）

① 感染症及び感染性の皮膚疾患の有無に関する医師の診断書

② 理容師免許証（写し）又は美容師免許証（写し）

※県内の理美容所に所属する理容師又は美容師がこの様式を使用する場合にあっては、「備考」欄に所属する店舗の所在地及び名称を記入すること。

※「種別」欄は、いずれかを○印で囲むこと。

※「出張業務の場所」欄は、「出張業務の理由」欄 3 にあっては施設の所在地及び施設名を記入すること。

松江市・島根県共同設置松江保健所長 様

住所（法人の場合にあつては、主たる事務所の所在地）

氏名（法人の場合にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号

### 出張理容・出張美容変更（廃止）届

このことについて、下記のとおり変更（廃止）したので、届け出ます。

記

理美容所の 名称及び所在地※	Tel (            )            -	
変更（廃止）の理由		
変 更 内 容		
	変 更 前	
	変 更 後	
変更（廃止）年月日	年	月 日

※「理美容所の名称及び所在地」欄は、開設者が届出を行う場合のみ記入すること。

